

# パートナーとなる デジタルツイン subME

私たちは「人生 100 年」が特別なことではない時代にいます。人生 100 年の老後は長く、それを支える家族や地域のような資源は減ってゆきます。人生 100 年を満ち足りたものにするには、日々の暮らしの中で、一人ひとりが「自分にとって意味のあること」を見つけ、それに時間やお金などのリソースを投じることの積み重ねが大事です。subME は対話を通じてあなたの老後の日常に伴走し、あなたにとって意味のあることを探しながら、周りとながめるためのツールです。subME はあなたの趣味嗜好、行動パターンなどを蓄積し、最適なアドバイスを提供します。

## 1 自己対話による価値観の認識と引き出しの支援

サイバー空間の分身と自然に対話しながら、もう一人の自分を構築  
「ジョギングで楽しいところ？自然の移り変わりがわかることかな」  
「娯楽ばかりだと物足りないよ。新しいことが学べる本を読みたい」

## 2 外部との接続による体験や情報の獲得 新たな発見に基づくリソース投入決定支援

「仲間」「専門家」「社会」と接続するサイバー空間とフィジカル空間をシームレスにつなぐプラットフォームを構築  
「小学校の家庭科の授業のボランティア、私も役に立てるかな」  
「空き家になるのが心配だったけど、専門家に相談してみよう」

## 3 決定に基づく行動促進 現実世界での生活の変革促進

一体化した空間において様々なサービス、商品を提供し、ユーザーの行動を引き起こすことで、新たな市場を構築する

# subME

## Your Lifetime Reflection and Connection



realME(自分)

日々の生活における情報を  
インプット



シーンに合わせたアドバイス



subME(アバター、自らの分身)

## POINT01

### 「自分にとって意味のあること」 を見いだす

「自分にとって意味のあること」を見つけるためには、私たちは無意識のうちに自分自身と対話しています。しかし、高齢期は、身体的・認知的な機能低下や生活範囲の縮小などによって、自分との対話が減ってしまいがちです。subME サービスは①「意味のあること」を見出し、②リソースを投じる決定をし、③実行につなげる仕組みを提供します。

- (1) 自己対話による価値観の認識支援
- (2) 外部との接続による体験や情報の獲得  
新たな発見に基づくリソース投入決定支援
- (3) 決定に基づく行動促進、現実世界での生活の変革促進

## POINT02

### subME サービスの構成 コアコンセプト：デジタルツイン subME があなたと一緒に未来を創ります



どんな時もあなたに寄り添い対話します【鏡】



あなたと世界をつなぎます【窓】



最期まであなたと共に成長します【拓】

## POINT03

### 自己対話から 3つのつながりに接続する

この3つのステップを実現するには、サイバー空間を積極的に活用し、現実世界であるフィジカル空間と組み合わせた支援が有効です。この自己対話を担うのがサイバー空間にいる、デジタルツインの「subME」です。日常的な対話を通じてユーザーにとって「意味のあること」を引き出し、蓄積し、情報を流通させ、新たなつながりを作ります。自己対話（自分とのつながり）を起点として、支え合い刺激し合う仲間、自分が持っていない知見を提供する専門家、様々な手段や機会を提供する社会とのつながりに発展していきます。さらには、自分自身で意思表示をすることが難しくなった際には、ご本人の周辺の人による意思決定に対して subME が判断の材料となる情報を提供します。

①自分コネクション 自分を知る・広げる 対話し続ける

②仲間コネクション  
気持ちを共有できる  
ライブとつながる

③専門コネクション  
不安に向き合えば  
解決が見える

④社会コネクション

はたらく、参加する  
歴史になる

